



今回のセミナーには、LIXILグループ執行役副社長で、本協会の評議員でもある八木洋介氏が登壇し、「企業経営と戦略人事」をテーマに語っていただきます。

経営戦略を司る企画部門と人事部門は時に対立しがちですが、八木氏は人事部門こそ「戦略性のマネジメント」を担う存在であるべきだと主張しています。

先の会員アンケートでは、「戦略の重責を担い、役割を十分果たしている」と自負する社はわずかに2割。「重責を担うも、役割を果たせず」とする社が6割に達しており、「戦略」にどう取り組むのか戸惑う人事部の現状が浮き彫りにされています。

NKK、GE、LIXILと人事の「日米格差」をつぶさに見てきた八木氏が語る「人事部門がなすべき役割と戦略」「人事の醍醐味」にご期待ください。

プログラムのご紹介



企業経営と戦略人事

LIXILグループ執行役副社長 八木洋介氏

日時：11月20日(水) 15:30～17:30

場所：パソナグループ本部ビル 1階研修室

(〒100-8228 東京都千代田区大手町2-6-4)

※セミナー終了後、懇親会を予定しております。軽食と飲み物を用意致しますので、お時間の許す範囲では是非ご参加下さい。

【メッセージ】

人事部門を取り巻く課題は多い。真の実力主義の実現、グローバルに一貫した人事制度、グローバルに通用するリーダーの育成、組織の活性化、ダイバーシティの実現、エンゲージメント向上などなど。それぞれに新たな考えを要求されるものであり、それはそれでチャレンジングなのだが、私は一番のチャレンジは、人事の本気度、実行力、変革力だと感じている。リスクをとってでも行動することこそ今最も必要なことだ。

我々は継続性を金科玉条のものとし、シフトしたパラダイムに目をつぶり、本来必要な企業競争に勝つための行動に躊躇してきたのではなかったか。今こそ人事部門は、経営課題をタイムリーに解決し、最高のパフォーマンスを達成する戦略部門となるべきだ。そして、真のChange Agentとして果敢に行動すべきときだ。戦略人事についての私の考えと、LIXILにおけるチャレンジについてお話したい。

【講師プロフィール】

京都大学経済学部卒業後、1980年日本鋼管株式会社に入社。92年マサチューセッツ工科大学(MIT) スローン経営大学院で修士号を取得。

1999年から2012年3月まで、GEにおいて複数のビジネスで日本やアジアの人事責任者を歴任。12年4月よりLIXILグループ執行役副社長に就任し、人事総務・法務を担当。

著書に『戦略人事のビジョン～制度で縛るな、ストーリーを語れ』（金井嘉宏氏共著、光文社新書）。

※12月のセミナー開催はありません

